



第16回にのみや観光フォトコンテストより
特選 夏「真夏のシラス干し」二見 博氏

湘南のみや 議会だより

平成23年
6月定例会
6/3～6/10

平成23年6月定例会 6/3～6/10

- ▶ 議会で決まったこと
水槽付消防ポンプ車購入…………… 2～4 P
- ▶ 特別委員会報告…………… 4 P
- ▶ 一般質問で11議員が登壇…………… 4～9 P
- ▶ 町を彩る団体紹介…………… 10 P

9月定例会のお知らせ

9月2日(金)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

議会で決まったこと

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入

平成8年度に購入した水槽付ポンプ車が自動車NOX法で車検が更新できず、新たに災害対応特殊水槽付消防ポンプ車を購入することになった。購入契約金額は4千567万5千円。国の緊急消防援助隊設備整備費補助金を利用する。

問 補助金はいくらか。
答 総額967万8千円。

問 水槽付ポンプ車の稼働率は。
答 稼働率80%が高い。大型車では狭い道に

問 しか入れないのでは。
答 主に、道幅のある幹線道路で使われる。

問 水害時に低床車両で大丈夫か。
答 低床車両の方が使いやすい。

問 オートマチックが使いやすいのでは。
答 性能を考慮してマニュアルシフトにした。

問 車両に表示される文字の目的は。
答 安全管理上、夜間でも目立つようにした。全会一致で可決。



大震災に備え
ポンプ車をグレードアップ
(写真は同仕様車)

条例の改正

二宮町議会

委員会条例の改正

4月1日、機構改革により「企画室」を「政策部」に変更したほか、「生活環境課が町民生活部に編入」されたことから各常任委員会の所管を変更するもの。
全会一致で可決。

特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の改正

各種審議会・委員会に議員が充て職で任命される場合に報酬を支給しない事を明文化したもの。(監査委員、農業委員を除く)
12対1で可決された。

二宮町公会堂 条例の改正

百合が丘第2公会堂移設のため、現在の施設を廃止することに伴い同条例から名称及び住所を削るもの。

問 廃止から新公会堂設置まで間が空くが住民に

不便はないか。
答 地区長と相談し、老人憩いの家や児童館を代用するという事で話ができています。

専決処分

国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、医療費分、後期高齢者支援金、介護納付金の賦課限度額引き上げを行うもの。
4月1日より施行。
12対1で可決。

老人保健医療特別会計

老人保健医療特別会計の閉鎖に伴い本3月議会で補正したが、その後過年度の国庫補助金や返納金の収入があったため、補正措置を行なったもの。
全会一致で可決。

などの質疑があり、委員会では全員賛成。本会議では12名賛成(1名欠席)で可決された。

神奈川県市町村職員退職手当組合の規約変更について

神奈川県市町村職員退職手当組合に情報システム共同事業組合が加入し、組合を組織する地方公共団体数の増に伴う規約変更の協議及び議決について、地方自治法第286条第1項・第290条の規定により提案された。
全会一致で可決。

暑中お見舞い
申し上げます

暑さは
これから本格的
くれぐれもお体を大切に

二宮町議会一同

一般会計 補正予算



脚光を浴びる太陽光発電

予算総額に歳入・歳出それぞれ3千595万2千円を追加。主なものは議員年金廃止に伴う負担分3千382万7千円。太陽光発電設置補助金増260万円など。

問 議員年金廃止に伴う公費負担分は全額、町の負担になるのか。

答 国との対応の中で全額交付税対象となる予定。

問 太陽光発電補助金は当初予算で25件分見込み予算化されているが現状と今後の見込みは。

答 当初予算分は既に全額交付済みで補正予算で

更に25件を予定する。財源は県2分の1と町2分の1で実行する。

問 剪定枝資源化施設用地を工業団地内に2億2千万円で求めることに関して債務負担行為を行うが、施設建設用地を他にも検討したのか。

答 工業団地内は道路事情・上下水道も既に整備されており、町としては初期投資も少なく有利な判断と思う。

問 広域の枠組みの中で行うのならば「平成25年から検討する」となっているが、この用地購入は

広域の枠組みの中での判断なのか。施設の全容も明らかでない中での用地購入は拙速ではないのか。

答 広域の判断ではなく大磯町・平塚市に二宮の意気込みを示す必要がある。今後補助金などを検討していく。

11対2で可決された。

平成22年度二宮町土地開発公社 事業報告及び決算報告

平成22年度は、(仮称)多目的広場用地(旧園試跡地・面積44,673㎡)売却事業として二宮町に、18億481万8千273円で平成23年3月31日売却した。その他の用地取得事業はなく、財産目録や、貸借対照表の報告がされた。

4月1日より施行。12対1で可決。

平成22年度一般会計予算繰越 明許費繰越計算書の報告

平成22年度一般会計については18件の繰越があり、主に、ごみ積替施設建設工事管理委託料947万5千円・ごみ積替施設工事1億3千691万

円・中里第2架道橋補修工事1千650万円・せせらぎ公園木道改修工事800万円などが繰越となった。

平成22年度一般会計予算 継続費繰越計算書の報告

新地方公会計制度対策事業(財産台帳等作成委託料)の総額1億9千754万円が繰越となった。新公会計制度とは従来の決算は、現金主義の単式簿記で家計簿のようなものだったが、新しい公会計では民間企業

が使っている複式簿記の形式を取り入れ、4種類の財務書類を作成している。①貸借対照表②行政コスト計算書③純資産変動計算書④資金収支計算書。二宮町は平成20年度決算から作成・公表している。

議会基本条例制定 特別委員会報告

6月までに5回の特別委員会を開催した。主に本条例内容を表わす前文と目的の内容について議論し、委員全員の合意に至った。

過日、既に議会基本条例が制定されている開成

町の前町長である露木順一氏を招き、「地方分権と地方自治」と題し、開成町での本条例の制定過程と、その後の町政運営や町民の町政への意識変化について講演をいただいた。議員や町内外からの多数の傍聴者との活発な質疑応答がなされた。

今後は、さまざまな自治体で議会基本条例策定に携っている法政大学廣瀬克哉教授に助言を受けながら、個別条例内容の作成に向け議論していく。

また、町民の皆様の理解を得るために、町民との意見交換会を町内3か所で開催する予定。

議会基本条例講演会開催のお知らせ

町民の皆さまとともに二宮町の議会基本条例を策定して参りたいと考えます。ぜひご参加下さい。

- ◆基調講演 廣瀬克哉氏 (法政大学教授)
- ◆開催日 平成23年10月30日(日曜日)
- ◆時間 午後1時 開場
午後1時30分 開演
- ◆場所 町民センター (大ホール)

議会テレビ放映運営委員会報告

～一般質問をわかりやすく～

平成22年6月議会よりテレビ放映が実施され、これまでに視聴者から「一般質問の内容が不明瞭」などの意見が寄せられた。現在、一般質問の形式は三問一括方式となっているが、論点や争点をテレビを観ている人に分かりやすくするため

平成23年9月議会より試験的に実施していく。一問一答方式を取り入れることにより、時間制限を設ける。質問一件につき60分。二件以上は90分とする。

杉崎議長が

神奈川県町村議会議長会会長に



議長議長・杉崎俊雄氏は去る5月31日に開催された神奈川県町村議会議長会臨時総会において、県町村議会議長会会長に選任され6月9日就任した。

任期は平成24年6月8日までの1年間。
また、7月1日より関東町村議会議長会理事にも就任した。

宙の考えを聞く

一般質問

6月8・9日の本会議では、傍聴者が見守る中、11名の議員が町民の身近な問題17件を行政側に質問した。

ここでは各人の質問要旨を掲載する。この記事は本人の原稿提出に基づいて掲載したもの。

二宮駅北口駅舎周辺と、通学路の安全性について

桑原英俊議員

桑原 駅北口の東西出入り口では、朝の2時間だけでも3千人もの通勤・通学者が通り、また駅北口広場のロータリーでは送迎用の乗用車と多数のバス・タクシー等が停車し、危険度が上がっている。新原田橋から線路際の歩道区間では、特に雨の日は傘がぶつかり合い、児童が歩道からはみ出しており危険だ。このような場所をなぜ通学路としているのか。この状況を教育委員会は把握しているか。駅北口広場の整備計画は。

教育長 通学路はPTAの校外委員を中心に保護者と学校で決定する。現ルートも一番安全性が高いと考え指定した。二宮小学校児童の約6割以上がこの歩道を通学路としており、対策が必要だと思ふ。

都市経済部長 今後2年間で地域公共交通計画を策定し、駅広場と駅周辺道路課題を整理・検討する。通学時間はバスの停車を他の場所に移すように当該企業に交渉していく。

桑原 このままでは混雑解消できない。児童の危険回避には駅北口広場再整備が必要だ。地域公共交通計画策定に期待する。

地域公共交通計画で課題整理

町長 本歩道が通学に危険であることは認識している。北口広場整備は懸案であり、暫定整備のままであるが、整備が急務と考える。



子供達の通学路の現状をパネルで表現する

原 積替え施設建設用として調整区域内農地を平方メートルあたり2万3千円、総額約4千万円で購入した。土地の契約面積は1千993平方メートルだが、契約面積より約40平方メートル少ないと報告された。しかも、未だに近隣地主と境

契約面積と実測面積の違いを町民に説明できるか

原 富士徳議員



用地問題など未解決のまま進む建設工事

界の確定も行われていない。今後、境界の確定に伴い更に面積が減ることが懸念される。担当者は購入土地面積が契約面積より少なく確定した場合、町民にどのように説明するのか。過去に同様の事例はあるのか。
町民生活部長 土地購入を登記簿面積で行う場合にはやむをえない。
原 購入した農地から約110メートルのコンクリート廃材が出てきた。農地にあるはずのない廃材の処分は廃掃法でも定められているように元の地主の責任で行うべきと思う。町は処分費86万円を元の

地主に請求すべきだ。

支障物は町が処分

町民生活部長 造成工事にあたり、支障物は町の責任で撤去した。

原 工業団地内に剪定枝のチップ化施設を予定しているが、工業団地は企業や事業者の誘致を優先すべきで、町の施設は投資・波及効果の期待できる場所を選定し、用地の確保は全体計画ができてからでも遅くはない。

諸条件を考慮し決定

町長 他の候補地も検討したが道路、上・下水道などの条件から決定した。

東京大学果樹園跡地の活用について問う

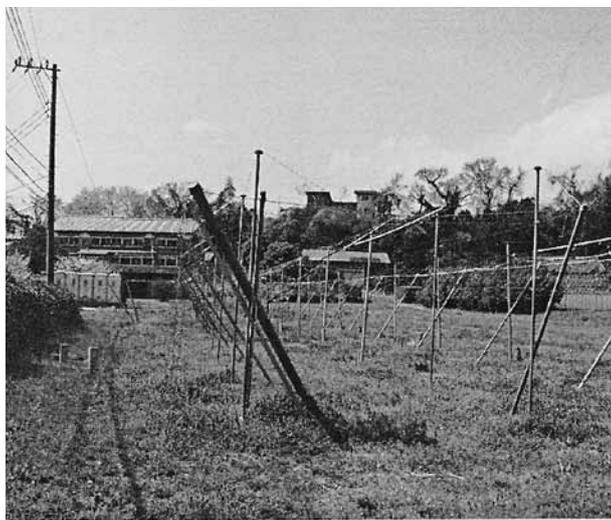
近藤 行宏議員

近藤 東大果樹園跡地の活用から伺う。町の中心部に位置する、この跡地を活用することは、将来の町の発展に大いに寄与すると考えるが、取得の意思はあるのか、また活用方法についてどのよう

か。

一、二か月のうちに東大へ回答する

町長 この跡地の土地利用ができれば、町の発展に大いに寄与するものとも私も確信しており、現在議論を深めているところだ。できれば跡地の購入



多様な利活用が図れる唯一、残された土地

近藤 財政的に厳しい現状は町民も認識されていると思う。あえてお聞きしたのは、購入の意思をはっきり示してほしいからで、念の為伺うが先方での、土壌検査は実施済みか。
町長 最初は10億円だったが、東大側で鑑定をし直した結果、約半額という数字が提示されている。薬害のことも、きちんと向こうで調べた後で値段が決まると思う。
近藤 跡地購入を強く求める。
(他に妙見地区、町道の安全対策について)

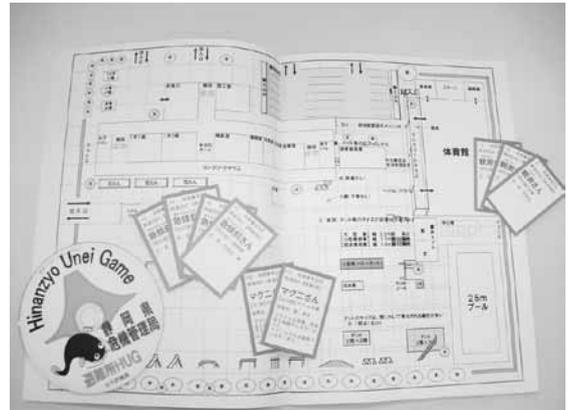
防災安全課・福祉課の連携で 災害時要援護者の対応充実を

根岸 ゆき子議員

根岸 障がい児者の被災軽減として今準備すべきいくつかのことを質問する。①要支援者防災マニュアルを作成し、要援護者リストの位置づけを明確にすることで全町的に事前整備が進むと考えるが如何か。②防災訓練への参加状況は。③福祉

避難所の存在を周知するべきだが町の考えは。

防災安全課長 要援護者リストの整備は55%。福祉部と協議し、高齢障がい課が進めている要援護者登録名簿を本人同意に限り地区長に提供できる要綱を検討中。防災訓練については事故等を懸念し遠慮いただいていたが、今年度の防災訓練では実践的な内容にする予定。健康福祉部長 今回の大震災で障がい者の特性別、自閉症・発達障害、視覚障害等の皆さんに対応する文書が国から届いているので要支援者マニュアルとして生かして



昨年、民生委員主導で行なった避難所運営ゲーム「DIG」

1次避難所が優先、福祉避難所は公表しない

町長 福祉避難所は2次の避難所だ。もし公表して希望を持った人が最初に行ってしまうたらどうなるのか、誰もいないのだ。障がい者だけが人間でなく健常者も人間、初期動作で全員が一緒に第1次避難所に行くことが理想。そのため地域活動が大事になる。根岸 車中泊等不安の声がある。福祉避難所は、他避難所と同等に町民へ情報周知すべきだ。

学校の災害安全対策を問う

脇 正文議員

脇 東日本大震災が起きたが、地震発生時から児童帰宅迄の各校の対応、地震発生以降6月9日迄の学校に対する教育委員会の対応、学校がとった防災対策、今後、災害における学校の防災対策に対し委員会はどう指導していくのかお聞きしたい。

適切な対応が集団下校

町長 学校の災害対策に

脇 意識改革や早急な対



「備えあれば」

脇 未だ小学校での地震発生時の対応説明がない。把握されていないのか。避難訓練に反省は生かされたのか。大人の願いは子どもたちの成長と安全。安心して暮らせるまちづくりを願う。(他に剪定枝処理施設の今後について。東京大学果樹園跡地の活用について質問。)

子どもの命は誰が守る

脇 長中心に先生方が一丸となるよう指導。各校は4・5月で避難訓練を実施。

脇 応見直しを指導したのか。教育長 意識改革は十分校内で話し合っ出て来ている。良い所悪い所を検証するよう指示した。教育次長 4月に震度5以上若しくは津波警報発令時は児童引き取りと保護者に通知。子どもたちの安全を守るには、学校

福島第一原発は危機的状況 環境放射線量測定調査せよ

小笠原 陶子議員

小笠原 3・11の地震と津波被害は甚大だが、もっと厄介な大災害は福島第一原発崩壊だ。国は国の責任で、東電は東電の責任で努力すべきだが、我々地方自治体も精いっぱい努力で人々の健康、とりわけ妊婦や乳

児、成長期の子どもたちの健康を守る義務がある。町は放射能汚染対策の情報を一元化し、一つの課で対応すべきだ。また、食品による体内被ばくをしないために、正しい産地表示を国に求め、正しい情報を収集し、提供すべきだ。

町独自の放射線量測定器を購入し、保育園、幼稚園、小・中学校、公園、町立運動場、農地、住宅地等の環境放射線量の測定調査せよ。また、学校給食での水、食材、牛乳の被ばく量を明示すべきと考えるがどうか。



6月22日放射線量測定（RDS - 30災害現場用簡易測定器使用）を実施

県へ放射線測定や国に対する補償の要望

町長 5月30日に県町村会から知事宛てに緊急要望を出した。素人が自分たちで測って、安心だと言っているほうが心配だ。今、懸命な収束に向かっている作業が続いている。ただ、それを早く願って、祈って待つだけという部分もある。食べ物でも、そんなことを言ったら食べるものはない。逆に生きていけなくなる。

副町長 窓口の一元化は生活環境部の防災安全課で対応する。

町公共施設の耐震化を 早急に進めよ

神保 順子議員

神保 阪神・淡路大震災を教訓にして平成17年より耐震改修促進法が改正された。それに伴い町も27年までの耐震化率を町公共施設100%、一般住宅90%を目標に掲げた。新耐震基準以前（昭和56年5月）に建築された建物が基準となり、町公共施設（学校含む）に

ついては耐震化が済んでいない施設が相当数ある。震災への危機感が高まっているこの時期に、耐震工事の済んでいない施設を町民に公表し、早急に改修工事を進める必要がある。また一般住宅では全戸数の67・8%しか耐震化されていない。現在町では耐震診断への

庁舎、町民センターから耐震化を進めたい

町長 一般住宅のリフォーム助成と組み合わせ耐震化を進めたい。神保 長期に渡る避難所暮らしになった場合、学校給食センターを災害時の炊き出し場所として防災計画に位置づけることが重要と考えるが。

防災安全課長 教育委員会等とも調整して、今後地域防災計画に取り入れるよう見直しをしていく。



給食センターを災害時の炊き出し拠点に

梅沢海岸防潮堤は必要だが 南防波堤計画を進めるべき

西山 宗一議員

西山 梅沢海岸背後地整備計画（防潮堤）に至るまでの経緯とその為に取り得した五ツ浦漁場用地と隣接地とのアクセスの考えはどうか。

町長 国の第9次漁港整備計画があり、平成元年着手、9年度南防波堤15



防潮堤が計画されている梅沢海岸

mを整備した。残事業は13年度から次期計画で対応を考えたが、13年定置網が急潮で壊れ、15年再開された。19年には漁港整備基本設計で取り組んだが9月に台風9号で西湘バイパスの崩壊など甚大な被害を受けた。漁港整備懇話会を設置し、海

整備には防潮堤は必要だが、大波を防波堤でやわらげないと防潮堤だけでは無理と思う。大災害の事を考えれば積極的に国・県に働きかけ、二宮の漁港整備には必要だと認識し取り組んでほしい。

南防波堤なくして 漁港機能は保てない

町長 二宮漁港整備は、南防波堤をなくして漁港機能が保てない状態では放置できない。機能が発揮できる整備が必要。（他に給食センター隣に計画している剪定枝資源化施設の安全対策を質問）



津波時に1人も犠牲者を出さない対策を！

町民生活部長 「自らの命は自ら守る」と考え、自主防災組織の育成強化に努める。津波対策は県に津波規模の再検証を求める緊急要望書を提出した。標高表示は39か所設置したが増設の予定。総合防災訓練に力を置く。

自主防災組織の育成 強化で対応していく

全町の規模で地域掲示板や電柱等に現在地や避難経路を記すことを求む。

町の放射能測定及び 防災安全対策を問う

浅賀 一伸議員

浅賀 3・11東日本大震災は天災の地震、津波に加え、人災の福島第一原発事故を引き起こした。撒き散らされた放射能に対し、未だ収束のメドが立たない。「日本では事故は有り得ない」とする国や東電の安全神話の為、対策を怠ってきたからだ。その為に住民は不安を拭

えず、二宮でも風評被害が出ています。そこで、1. 町として施設や農作物等の放射能測定を求める。2. その値の意味や人体への影響など正確な情報の公開を求める。3. 風評被害をどの程度把握しているか。またその補償を国や東電に求めるべき。町民生活部長 町として

は国や県の情報を重視して対策を図る。町村会で県に放射能測定緊急要望書を提出した。

浅賀 梅沢海岸やエクレールの辺りは海抜が低く津波時には大変危険だ。1. これらの地域の避難の仕方は周知されているか。2. 今後どのように改善を図るか。3. 全町の規模で地域掲示板や電柱等に現在地や避難経路を記すことを求む。

二宮町の

無電柱化推進計画を問う

添田 孝司議員

添田 家々の周りでは、多くの電線類がはりめぐらされて、年々景観が損なわれている。無電柱化は、市街地や住宅地の景観を向上するだけでなく、多くのメリットが指摘されている。バリアフリーで快適な通行空間の確保。台風や地震等の災害時に、倒れた電柱や電線類による危険の回避や緊急車両の通行確保。また、情報通信回線への被害軽減で情報ネットワークの確保などだ。国土交通省は電線共同溝事業で無電柱化を推進しており、大磯町や国府津の国道1号は既に無電柱化された。二宮町の無電柱化計画を問う。

が、ありつぶれた。町道の電線地中化は優先順位が低い。住民からの要望もほとんどなく次期総合計画で議論したらどうか。都市経済部長 国道1号に関しては、藤田電機付近と二宮斎場付近で共同溝は施行済みだが、無電柱化には2、3年かかる。聞いています。無電柱化には綿密な計画と大規模な予算が必要で、具体的な計画に踏み込めない。添田 長期的な町づくりでは、まだ整備が必要であり、無電柱化はメリットが大きい。まずは、町の財政負担のない国道と県道の無電柱化を推進すべく、積極的に国と県に要望を出すべきだ。

国道や県道は国と県へ積極的に要望する

町長 県道で以前そういう話があったが、反対者



地震や台風で電柱が倒れたらどうなるの？

3・11大震災の教訓を生かした防災対策強化を問う

三橋 智子議員

ハザードマップや避難の心得などを作成している。三橋 他の自治体は、この6月議会で防災強化のために補正予算を組むなど早急な対応をしている。二宮町の動きが全く見えないが。

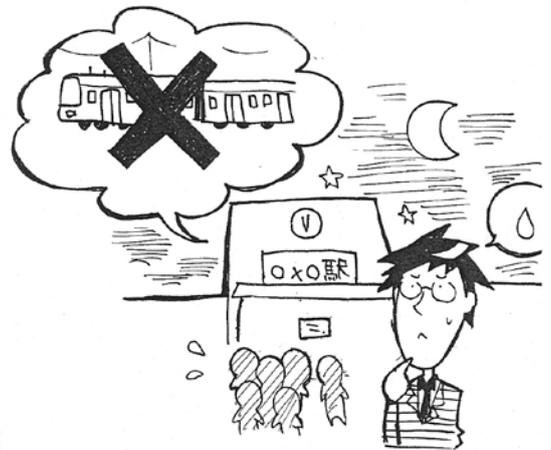
に「被災者支援システム」を平常時から整備しておく必要があるが町の見解はどうか。防災安全課長 県の町村議会が進めている「情報システムの共同化」で導入が可能だと思われる。今後は積極的に働きかけをしていきたい。

8月21日の防災訓練を焦点に様々検討重ねる

三橋 東日本大震災を受けて、従来の防災対策の見直し之急がされている。災害を「想定外」としなため、町はその基準をどこに置くのか。町民生活部長 神奈川県が平成21年度に公表した被害想定を基準として、

町長 今年の8月21日に行う町の防災訓練に向けて、避難所や津波規模の設定の見直しなどを図っている。危機感を持ち、対策にあたっている。三橋 被災後すぐに、必要事業を継続できるように（他にHTLV-1の母子感染予防対策を質問）

三橋 防災行政無線の難聴地域に、電話で放送内容が確認できる「音声自動応答サービス」が有効だと考えるがどうか。町民生活部長 情報伝達の一つのツールとして検討はしていく。



全ての経験を生かせる対策を！

町を彩る団体紹介

民俗芸能団体をシリーズで紹介します！



雄壮な姿 カッコいいでしょ!!

中町囃子保存会

(鎌倉囃子)
保存会会長
小泉孝之

中町祭り囃子は昭和53年青年会指導のもと、子ども会中心に夏祭りにかけて太鼓の練習を始めましたが、祭りを盛り上げるには、笛がなければと、の思いから、下町地区の協力を得て平成14年より笛の練習も始めました。地域役員の方々が発起人となり、平成15年に中町囃子保存会として正式に発足しました。会員は中学生以上とし、学生13名、社会人5名、役員6名の計24名です。

当会の活動は毎週1回の練習日と3月の平塚太鼓フェスティバルをはじめ、四社祭迎え太鼓、八坂祭礼、中、上町納涼祭、そして10月の川勾神社例大祭迎え太鼓、町体育祭、民俗芸能のつどいなどの各行事に参加し、会員とその家族との親睦会を行うなど、保存会への理解を深めています。7月に行われる八坂祭礼時の子ども会の太鼓練習には、

中・高校生が中心になって指導することにより、お互いのコミュニケーションがとれ、そのため狭い町内ながら、毎年保存会への入会希望者があります。

今後も鎌倉囃子を継承していかなくは、との思いです。

上町祭囃子保存会

保存会会長
杉野俊夫

昭和56年に大山囃子の系列である、中里祭囃子の指導を受けて保存会を発足しました。

地域文化としての祭囃子を継承し、太鼓を通じ



お祭りだけでなく
カラオケ大会でも活躍!!

て地域のコミュニケーション作りを目指しています。21・22年度の2年間、公益財団法人「伝統文化活性化国民協会」に応募し、地区に継承される大山囃子の実技の指導、また礼儀作法の基本を身に付け、豊かな人間性を養い、健全な精神が育まれる事を目的とした「伝統文化こども教室」として開催し、その補助金で大太鼓・小太鼓の皮やバチ、篠笛などを購入することが出来ました。小学生から大人まで幅広い年齢層で、春の浅間神社祭、夏の八坂神社祭、上・中町合同納涼カラオケ大会、秋の川勾神社みそぎ

祭、二宮町民俗芸能の集いなど町内の行事に参加しています。曲目は「四丁目」「宮昇殿」「治昇殿」「きざみ」「屋台」を基本として、祭りなどに備えています。近年、少子化が進んでいますが、親子で参加し太鼓を楽しみながら、絆も深まっていくように感じます。地域の皆さまのご支援、ご協力を今後とも宜しくお願い致します。

訂正とお詫び

139号の14面「町を彩る団体紹介」の記事中、「元町囃子保存会」は、正しくは「元町祭囃子保存会」です。訂正し、お詫び申し上げます。

編集室だより

3・11の大震災以降、日本中で防災、また環境に対する関心や危機感が高まっています。

わが町でもこの6月議会では、11名の質問者のうち7名から防災や放射能に関する質問がでるなど、防災に対する認識をあらためて確認することができました。震災が起こる前に議会としてなすべきこと。また震災が起こった場合の議会の役割りをそれぞれが考える機会となりました。

そして議会だよりについてご意見を頂き、委員一同たいへん感謝申し上げます。皆さまからのご意見を真摯に受け止め、これからも関心をもってお読み頂ける紙面づくりを心がけて参ります。

議会だより編集委員会

- 委員長 神保 順子
- 副委員長 添田 孝司
- 委員 浅賀 一伸
- 委員 原 富士徳
- 委員 近藤 行宏
- 委員 二見 泰弘